

一般社団法人管路診断コンサルタント協会

理事（副会長） 村岡 基



現在、「水」に携わる仕事に就いている私の原体験は幼少時に過ごした京都大山崎での生活にあると思います。当時の大山崎町では、水道水全量が天王山の麓、木津川・宇治川・桂川の三河川が合流し、淀川となる右岸の伏流水（地下水）を給水していました。サントリーのウイスキー「山崎」の仕込み水と同じ水系の伏流水です。夏は冷たく、冬は冷た過ぎず、まろやかな味でした。小学生の時には、外で遊んでいてジュースを買ったことなどありませんでした。一緒にいた友人もそうです。小学校のグラウンド横にある水栓から水を飲むか、近くの友人の家でコップに入った水を飲んでいました。昨今、ボトルウォーターが当たり前のように飲まれていますが、わが国の至る所で水道水が当たり前のように飲まれるように質の向上に対してコンサルタントが果たすべき役割を担っていかねばならないと考えます。